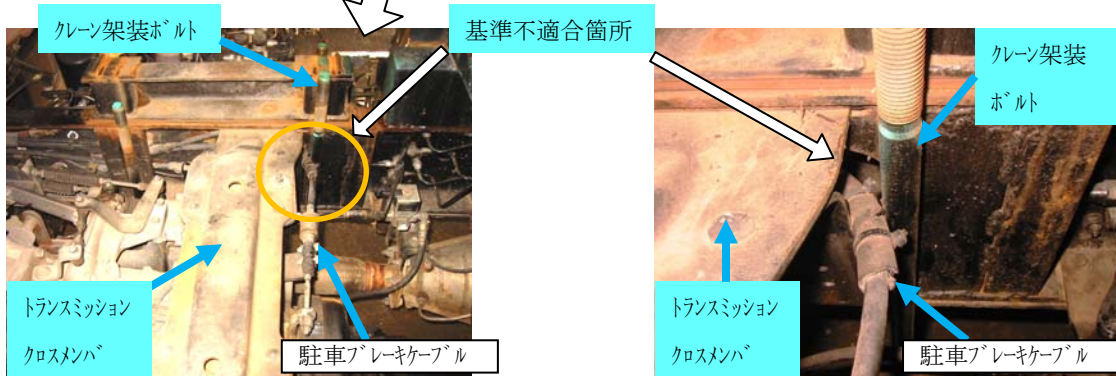


改善箇所説明図



基準不適合箇所

基準不適合箇所拡大

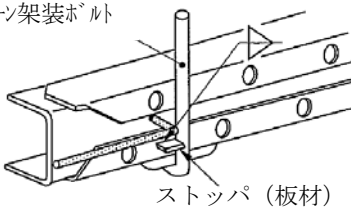
積載形トラッククレーン搭載車において、駐車ブレーキケーブルの配索経路であるトランスミッションクロスメンバとクレーンの架装ボルトの隙間が少ないものがある。そのため、当該駐車ブレーキケーブルがクロスメンバや架装ボルトと接触し、そのままの状態で使用を続けると、当該駐車ブレーキケーブルの外装が損傷し芯線の動きを妨げ、駐車ブレーキが作動しなくなるおそれがある。

改善措置の内容：

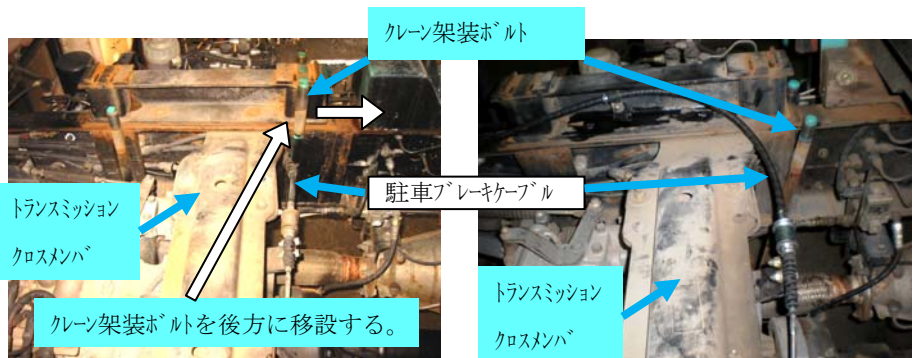
全車両、当該駐車ブレーキケーブルを点検し、

- ①当該隙間が少ない場合は、架装ボルトのストッパを追加する。
- ②当該隙間が極めて少ない場合は、架装ボルトを後方移設し隙間を確保する。なお、架装ボルトを後方に移設できない場合は、当該駐車ブレーキケーブルの配索を変更する。
- ③当該駐車ブレーキケーブルに接触痕のある場合は、当該駐車ブレーキケーブルを新品に交換する。

クレーン架装ボルト



改善措置（ストッパ追加）



改善措置（後方移設）

改善措置（配索変更）

注：□ は、点検により交換する部品を示す。

識別：架装ボルトを白色でペイントする。